

## 先天異常手の機能評価表の記載法

「手の大きさ」は共通書式3(51頁),「関節可動域」は共通書式2(50頁),「手の基本的動作」は共通書式5(53, 54頁)を使用してこれに記入する。

「つまみと握り」について, 指尖つまみ, 指腹つまみ, 側方つまみ, 強い握り, 巧緻握り, ひっかけ握りは54頁を参照する。

### I. 母指多指症

術後(多指切除, 矯正骨切りなど)の外表面態およびX線所見は図に斜線を入れて記載する。

### II. 合指症

術後の所見には, 指間水かき, 変形および癒痕拘縮, 植皮の部位, 爪の変形などを記入する。

### III. 合短指症

術後の機能評価は合指症のそれを参照して評価する。

### IV. 裂手症

X線所見は背側から, 外表面態は手掌面を記入する。

### V. 先天性絞扼輪症候群

術後の所見には骨欠損の状態, 絞扼輪の状態, リンパ浮腫の状態などを記入する。

VI. 複雑な形態の先天異常手の症例は共通書式13(66頁)に写真を貼付する。

VII. 橈骨形成不全の橈骨の欠損範囲は1/4以下, 1/4~2/4, 2/4~3/4, 3/4~全欠損に分ける。

### VIII. 巨指症

下記の分類を参考にして症候群名を記入する。

#### 分類

#### A. 手に限局

#### B. 症候群に伴う異常(1. ~ 6. はTemtamyに準ず.)

1. congenital partial gigantism
2. von Recklinghausen disease (neurofibromatosis)
3. Ollier disease (enchondromatosis)
4. Maffucci syndrome (enchondromatosis and hemangiomata)
5. Klippel-Trenaunay-Weber syndrome (osteoangiohypertrophy)
6. congenital lymphedema (Milroy disease)
7. Dejerine-Sottas disease
8. hyperpituitarism
9. others

Temtamy, S. A., et al.: Macrodactyly, hemihypertrophy and connective tissue nevi; Report of a new syndrome and review of the literature., J. Pediat., 89: 924-927, 1976.